

政策調整会議

(知事発表資料)

平成29年8月18日(金)



さがデザイン
さがをかえる しくみを考える

海岸等漂着ごみ緊急対策事業について

目的

7月5日から6日にかけて発生した「平成29年7月九州北部豪雨」により有明海沿岸域に漂着している木材等について、有明海の漁業振興、自然環境及び海岸保全施設への影響を最小限に抑えるため、速やかに撤去・処分する。

事業内容

- 農地海岸（川副海岸ほか6海岸）に漂着した木材等の撤去・処分
- 漁港（戸ヶ里漁港ほか14漁港）に漂着した木材等の撤去・処分
- 建設海岸（川副海岸、東与賀海岸、嘉瀬海岸、芦刈海岸、鹿島海岸）に漂着した木材等の撤去・処分
 - ※ 有明海佐賀県海域に流入した漂流ゴミの除去は既存予算、予備費で対応
 - ※ 農地海岸 ……干拓地等の農地を保全する海岸
 - ※ 建設海岸 ……農地海岸、港湾海岸及び漁港海岸以外の海岸

川副海岸



新有明漁港



東与賀海岸



有明海再生緊急対策事業について

目的

これまで資源回復に取り組んできたアゲマキ、ウミタケ、アサリについては、回復の兆しが見られることから、この機を逃さず県独自の緊急対策を講じることにより、漁獲の再開から安定的かつ持続的な漁獲につなげ、さらには漁獲量の増大を図る。また、品質評価試験のための乾ノリ製造施設を更新し、佐賀海苔が評価されている「口溶け」、「うまみ」など品質の向上、ひいては単価アップにつなげる。



事業内容

- ・アゲマキ:これまで実施してきた種苗の大量放流に加えて、今回、漁獲エリアと保護エリアを精密に把握することで、来年6月の26年ぶりの漁獲再開と持続的な漁獲につなげる事業
- ・ウミタケ:漁場造成の適地を探索し、10年ぶりの漁獲に結びつけた漁場造成をさらに拡大し、漁獲を増大するための事業
- ・アサリ: 稚貝の着底促進とナルトビエイによる食害防止を兼ね備えた漁場造成手法を開発し、漁獲の拡大につなげる事業
- ・ノリ: 乾ノリ製品の品質評価試験のための乾ノリ製造施設を更新することにより、より正確な評価を可能とし、佐賀海苔が評価されている「口溶け」、「うまみ」など品質の向上、ひいては単価アップにつなげるための事業

貝類資源の回復を加速化(29年度の動きを受けて)



【アゲマキ】
継続的な稚貝放流により、放流貝から生まれた貝が成長。
来年、26年ぶりに漁獲再開へ



【ウミタケ】
県の漁場造成により、10年ぶりに試験的な操業、出荷に結びついた。
来年以降、本格操業へ



【アサリ】
昨年10年ぶりに漁獲。今年も漁獲が行われた。
さらなる漁獲拡大へ

明治維新150年記念さが維新事業について

目的

明治維新150年（平成30年）を契機に、佐賀の偉業や偉人を顕彰し、偉業を成し遂げた先人の「志」を今に活かし、未来につないでいくため、「肥前さが幕末維新博覧会」を開催し、佐賀への愛着・誇りの醸成と地域づくりに資する。

事業内容

○肥前さが幕末維新博覧会テーマ館の運営

幕末維新記念館をはじめとしたテーマ館の運営

- ・期 間：平成30年3月～平成31年1月
- ・会 場：幕末維新記念館、葉隠みらい館、リアル弘道館、唐津サテライト館、鳥栖サテライト館 等

○広報プロモーション展開の強化

県内の機運醸成に向けた県民向けの広報に加え、県外、特に、北部九州エリアでの認知度を向上させ集客を促進

- ・対象地域：主に福岡、長崎
- ・活用媒体：TV、新聞、交通広告など



【イメージ】幕末維新記念館



【イメージ】葉隠みらい館



【イメージ】リアル弘道館

ふたご・みつご子育て支援事業について

目的

自家用車での移動が困難な多胎児(双子や三つ子など)の出産及び育児をする家庭に対し、子育てタクシーを活用してスムーズな外出を支援することにより、子育てしやすい環境の整備を図る。

事業内容

多胎児の妊婦(保護者)の希望により子育てタクシーチケットを交付する。

- 対象者 多胎児の妊婦(保護者)
- 金額 妊婦一人につき2万円分
- 使用期間 母子手帳交付日から、子どもが1歳半になるまで

